

平成27年度
岡山県学力・学習状況調査

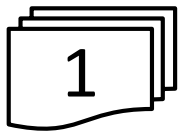
調査結果を活用した授業改善のポイント



岡山県教育庁義務教育課

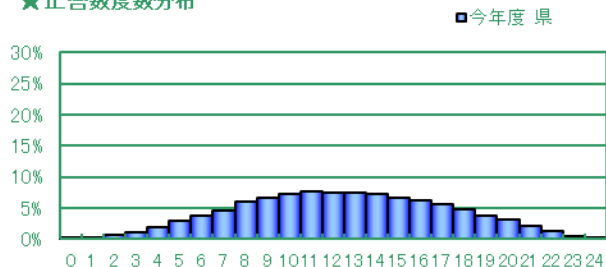
社 会





正答数度数分布

★正答数度数分布



平均正答数
24問中12.4問

平均正答率
51.6%

設問ごとの概要

★:同一問題 ◎類似問題

大問番号	中間番号	小問番号	出題のねらい	観点	正答率	無解答率	正答率グラフ										
							0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
1	(1)	①	岡山県の河川について、その名称と位置を理解している。	知	34.3	15.6	[Bar chart showing 34.3% correct rate]										
		②	岡山県の平野について、その名称と位置を理解している。	知	51.7	0.8	[Bar chart showing 51.7% correct rate]										
	(2)	①	岡山県の周辺の県について、その名称と位置を理解している。	知	73.4	0.3	[Bar chart showing 73.4% correct rate]										
		②	岡山県の周辺の海洋について、その名称を理解している。	知	69.0	9.1	[Bar chart showing 69.0% correct rate]										
2	(1)		日本の位置について、地図を読み取ることができる。	技	58.3	0.8	[Bar chart showing 58.3% correct rate]										
	(2)		大韓民国の名称と位置を理解している。	知	77.2	5.4	[Bar chart showing 77.2% correct rate]										
	(3)		北方領土の構成や背景を理解している。	知	23.8	1.0	[Bar chart showing 23.8% correct rate]										
3	(1)		日本海側の気温と降水量のグラフを選択することができる。	技	34.0	1.1	[Bar chart showing 34.0% correct rate]										
	(2)		出雲地方に築地松が多く見られる理由を、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	思	53.7	8.7	[Bar chart showing 53.7% correct rate]										
	(3)		同じ季節でも地域によって気候が異なる理由を、資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	思	4.0	16.3	[Bar chart showing 4.0% correct rate]										
4	(1)		自動車生産の工程順と写真を合致させることができる。	知	74.1	0.9	[Bar chart showing 74.1% correct rate]										
	(2)		自動車の関連工場の役割について理解している。	知	71.7	1.0	[Bar chart showing 71.7% correct rate]										
	(3)		豊田市の工業生産の様子について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	思	34.7	9.7	[Bar chart showing 34.7% correct rate]										
5	(1)		戦国大名の勢力図をもとに、織田信長の領土拡大の状況について把握することができる。	技	71.0	1.5	[Bar chart showing 71.0% correct rate]										
	(2)	①	長篠の戦いについて理解している。	知	93.8	0.8	[Bar chart showing 93.8% correct rate]										
		②	長篠の戦いについて理解している。	知	65.4	1.0	[Bar chart showing 65.4% correct rate]										
	(3)		豊臣秀吉の政策や功績について理解している。	知	36.4	1.4	[Bar chart showing 36.4% correct rate]										
(4)		豊臣秀吉による検地の目的について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	思	32.8	11.9	[Bar chart showing 32.8% correct rate]											
6	(1)		日清戦争について理解している。	知	53.1	9.1	[Bar chart showing 53.1% correct rate]										
	(2)		外国と結んだ不平等条約による影響について、領事裁判権の側面から考察し、その内容を表現することができる。	思	45.3	8.2	[Bar chart showing 45.3% correct rate]										
	(3)		陸奥宗光の功績について理解している。	知	54.2	2.8	[Bar chart showing 54.2% correct rate]										
	(4)		関税自主権について理解している。	知	29.9	24.1	[Bar chart showing 29.9% correct rate]										
7	(1)		国会の働きと国民との関わりについて理解している。	知	40.9	3.4	[Bar chart showing 40.9% correct rate]										
	(2)		裁判員制度の導入の目的について理解している。	知	56.3	3.9	[Bar chart showing 56.3% correct rate]										
					51.6	—	[Overall average bar chart]										

結果の概要

成果と課題

- 基礎的・基本的な知識・技能を問う設問においては、隣国の名称や位置、歴史資料と関連付けて事象を判断する問いに定着状況が見られるが、人物の功績や国土に関する知識の確実な定着に課題がある。
- 気候について、暮らしや生活との関わりを説明したりする設問においては、改善が見られるが、資料に基づき学んだ歴史的事象等を説明することに依然として課題が見られる。



調査結果を活用した授業改善のポイント

○小・中学校つながりを意識する

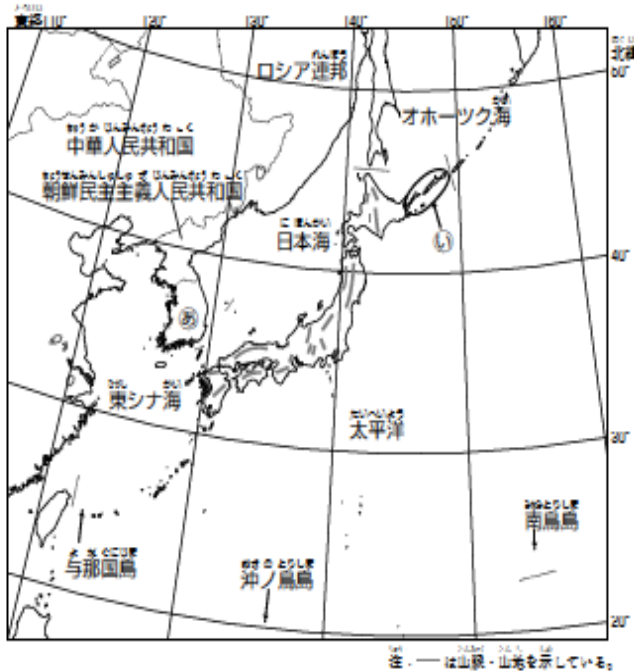
○社会科における言語活動の充実

- ・資料の情報を取り出す。
- ・必要な情報を判断し、比較、関連付け、総合する。
- ・自分の判断した結果を基に、他者に対して表現する。



小・中学校つながいを意識して

- 2 けんとうさんのクラスでは、日本とその周辺の国々について学習しました。あとの問いに答えなさい。



- (1) 上の地図からわかることを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 日本の南のはしに位置しているのは、南鳥島である。
- 2 日本は、ユーラシア大陸の西に位置している。
- 3 日本列島は、4つの大きな島と小さな島々からなる。
- 4 日本の南北の範囲は、北緯50度から北緯30度までである。

- (2) 上の地図中の②で示した国の名前を書きなさい。

中学校との関連

中学校地理的分野 内容
(2)アにおいて、我が国の国土の位置を取り上げており、世界各地との位置関係などから、日本の地域構成を大観させることをねらいとしている。

出題のねらい	正答率
日本の位置について地図を読み取ることができる。	58.3%
大韓民国の名称と位置を理解している。	77.2%

小・中学校つなごいを意識して

(1) 上の地図からわかることを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

21% 1 日本の南のはしに位置しているのは、南鳥島である。

8.6% 2 日本は、ユーラシア大陸の西に位置している。

正答率 58.3% ③ 日本列島は、4つの大きな島と小さな島々からなる。

11.2% 4 日本の南北の範囲は、北緯50度から北緯30度までである。

地図の活用や方位の理解が十分できていない。

(1) 類似問題 H25県調査

正答率 70.1%

H27

正答率 58.3%

指導のポイント

1 地図帳や地球儀を一層活用する。

「様々な視点から眺める」、「実際に方位や距離を確認する」等の体験を通じて活用し、確認したことを白地図にまとめて定着を図るなどの工夫が必要。

2 我が国の位置や領土について様々な表し方をする経験をさせる。

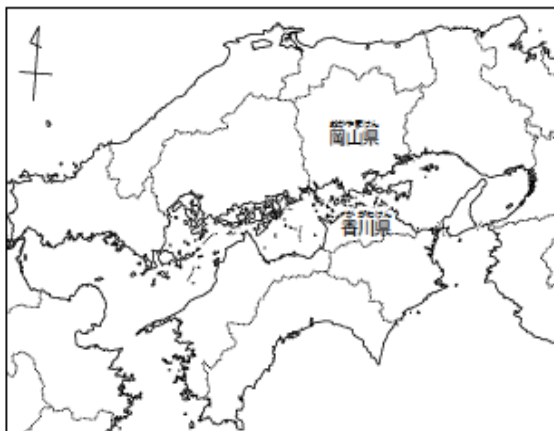
○「我が国は北半球にあり、ユーラシア大陸の東に位置している」

○「我が国は太平洋と日本海などに囲まれている。」等 小学校学習指導要領解説より

小・中学校つなごいを意識して

(2) のぼるさんは、次の地図を使って岡山県とその周辺の県の位置について、右下のよう

に説明しました。



【のぼるさんの説明】

- 岡山県から見て、
- ① 東隣には近畿地方の(A)県があります。
 - ② 西隣には世界文化遺産に指定された原爆ドームのある(B)県があります。
 - ③ 北隣には(C)県があります。
 - ④ (D)をはさんで、南には香川県があります。

出題のねらい

正答率

(2)岡山県の周辺の県について、その名称と位置を理解している。

73.4%

〈C〉の誤答、無解答

15.2%

① 【のぼるさんの説明】の(A)から(C)の中にあてはまる県名として正しいものを、次の1から5までの中からそれぞれ1つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 山口 2 鳥取 3 広島 4 島根 5 兵庫

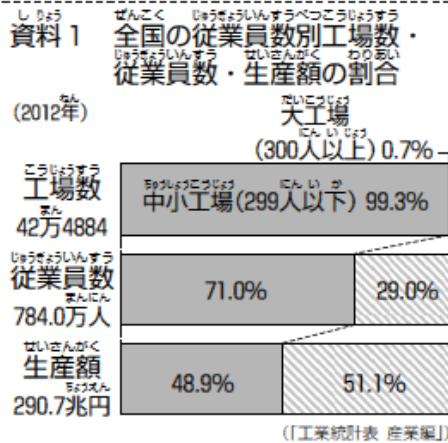
指導のポイント

都道府県の位置や名称の定着が不十分

作業的な学習を行った上で、反復学習や定期的な振り返りを行うことにより、確実な定着を！

社会科における言語活動の充実

- (3) つよしさんは、自動車工場と関連工場の関係について学習する中で、大工場と中小工場があることに気がつき、資料をもとに2種類の工場を比べてノートにまとめました。



【つよしさんのまとめ】

- ①全国では、工場数の99.3%は中小工場であり、従業員数も大工場より多い。
- ②全国の生産額は、中小工場より大工場のほうが多い。

これらのことから、全国の中小工場は、工場数が多く従業員数も多いが、生産額は大工場より少ないことがわかりました。

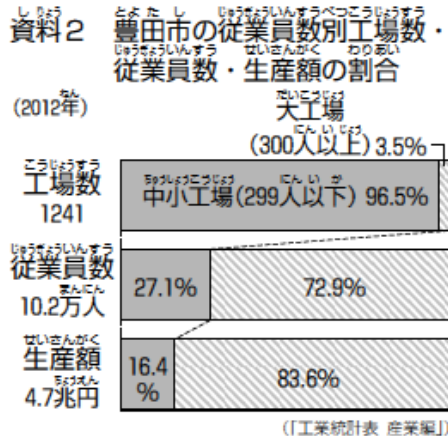
出題のねらい

正答率

豊田市の工業生産の様子について、複数の資料を基に考察し、その内容を表現することができる。

34.7%

- ただしさんは、自動車工業が盛んな豊田市の工場についての資料2をもとに、ノートにまとめました。つよしさんのまとめを参考に、「工場数」・「従業員数」・「生産額」の3つの語句を使って、【ただしさんのまとめ】を完成させなさい。



【ただしさんのまとめ】

- ①豊田市では、工場数の96.5%は中小工場だが、従業員数は大工場のほうが多い。
- ②豊田市の生産額は、中小工場より大工場のほうが多い。

これらのことから、豊田市の大工場は、()がわかりました。

小学校においては、必要な「情報の取り出し、比較・関連付け・総合」しながら文章にまとめる活動を充実させることが求められている。

社会科における言語活動の充実

豊田市の工業生産の様子について理解している。
(資料から情報の読み取りができています。)
(44%)

指定された語句を使って説明できていない。

小学校社会科の能力に関する3つの目標が、学習指導要領解説には系統的、段階的に示されている。P20,50,72(参考)

社会的な思考力
判断力

観察力
資料活用力

表現力

指導のポイント

「自分の言葉でまとめ」、さらに資料や根拠を示しながら、図や文章などで表現させる活動の時間確保するなど、段階を踏んだ指導が必要である。

「(豊田市の大工場は、)工場数が少ないが、従業員数と生産額は中小工場より多いこと(がわかりました。)」などと解答しているもの
※「工場数」・「従業員数」・「生産額」の3つの語句を用いたうえで、①「(中小工場より)工場数が少ない」旨と、②「(中小工場より)従業員数が多い」旨と、③「(中小工場より)生産額が多い」旨を、いずれも記述できている場合類型1。

1	◎	34.7
---	---	------

「(豊田市の大工場は、)工場数と生産額が少ないが、従業員数は多いこと(がわかりました。)」などと解答しているもの
※「工場数」・「従業員数」・「生産額」の3つの語句を用いたうえで、類型1における①～③の一部の内容を誤って記述している場合

2	×	14.8
---	---	------

「(豊田市の大工場は、)工場が少ないが、従業員と生産は多いこと(がわかりました。)」などと解答しているもの
※「工場数」・「従業員数」・「生産額」の3つの語句のすべてまたはいずれかをそのまま用いずに、類型1における①～③のすべての内容を正しく記述している場合は類型3。

3	×	9.3
---	---	-----

「(豊田市の大工場は、)工場と生産が少ないが、従業員は多いこと(がわかりました。)」などと解答しているもの
※「工場数」・「従業員数」・「生産額」の3つの語句のすべてまたはいずれかを用いずに、類型1における①～③の一部の内容を記述している場合は類型4。

4	×	18.7
---	---	------

上記以外の解答
無解答

9	×	12.7
0	×	9.7

資料の読み取り
や表現力に課題

- 5 まもるさんとひろみさんのクラスでは、戦国時代の人物を1人選び、その人物に関するテーマを決めて調べ学習をしました。あとの問いに答えなさい。

- (1) まもるさんは、織田信長を選び、調べるテーマを決めるために、当時の勢力図を用意し、それぞれの資料から次のように考えました。
まもるさんの考えと資料の組み合わせとして正しいものを、あとの1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

【考え①】

現在の愛知県あたりだけを領土とする小さな戦国大名だ。

【考え②】

日本で、一番大きな領土をもつ戦国大名だ。

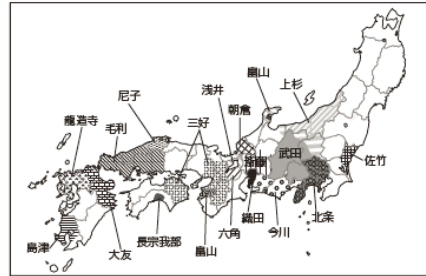
【考え③】

現在の京都府の一部も領土とし、武田氏に負けにくいぐらいの大きな領土をもつ戦国大名だ。

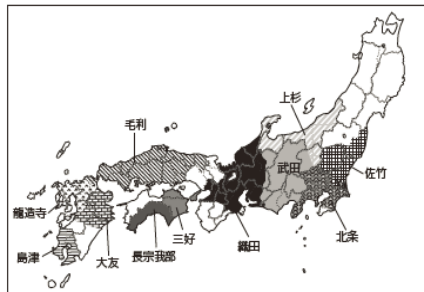
【まもるさんのテーマ】

なぜ、織田信長は、領土を広げることができたのだろう。

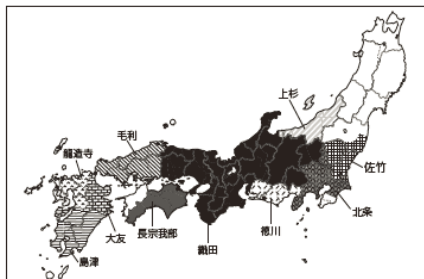
資料1 1560年ごろの戦国大名の勢力図



資料2 1575年ごろの戦国大名の勢力図



資料3 1580年ごろの戦国大名の勢力図



出題のねらい	正答率
戦国大名の勢力図をもとに、織田信長の領土拡大の状況について把握することができる。	71.0%

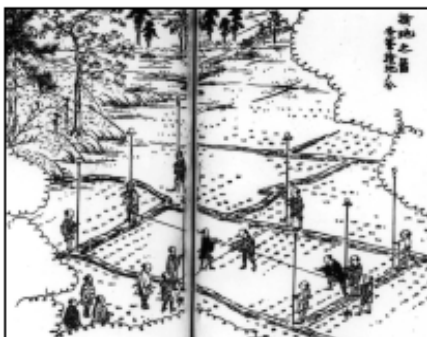
小学校の人物を重視した学習を踏まえて、中学校では、扱う内容や活動の仕方を工夫し、「時代の区分やその移り変わり」に気付かせるようにすることが求められている。

指導のポイント

単なる事象を個別に「覚える」学習だけにならないようにすることが必要であり、複数の資料を関連付けて読み取ったり、社会的事象の意味を広い視野から考えたりする活動が必要である。

社会科における言語活動の充実

ひろみさんは、豊臣秀吉が行った検地に関する2つの資料を見つけました。



全国でばらばらだったますの太さやものさしの長さを統一して、田畑の収穫高や面積を調べました。



田畑を耕す農民の名前を検地帳に登録させることで、田畑の持ち主をはっきりさせました。

この2つの資料から、検地を行った目的についてまとめようとしています。次の【ひろみさんのまとめ】を完成させなさい。

【ひろみさんのまとめ】

豊臣秀吉が検地を行った目的は、()です。

複数の資料を
活用して

例えば... 「検地や刀狩の資料から豊臣秀吉の政策の意図を考える学習」

※小学校学習指導要領

解説 第3節 6学年 2 内容オ

めあて

豊臣秀吉の検地の目的について、2つの資料を使って説明しましょう。

出題のねらい

豊臣秀吉による検地の目的について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。

正答率

32.9%



社会科における言語活動の充実

左の資料の検地帳には、田畑の持ち主の名前が登録されています。これによって、年貢をだれが納めるのか分かるようになります。

右の資料は、ますやものさしの長さを統一して、田畑の面積を調べています。これは、年貢を正しく取るために行われたと思います。

2つの資料から分かることは何か？

ことばで表現する活動

「(豊臣秀吉が検地を行った目的は、)農民から年貢を確実に徴収できるようにするため(です。)」などと解答しているもの。

◎ 31.0%

「(豊臣秀吉が検地を行った目的は、)武士が支配する社会のしくみをつくるため(です。)」などと解答しているもの。豊臣秀吉の検地の目的などについて、包括的に記述している場合も含む。

○ 1.9%

上記以外の解答

× 55.2%

無解答

× 11.9%

根拠を資料の中から取り出すことが必要であり、根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明することができるようにすることが大切！

授業5(ファイブ)④

○児童生徒に話形を提示し、できたといえる具体を示す。

○まとめ方を学ぶことを「めあて」に指導を行うなど、段階を踏んだ学びが大切。

指導のポイント

根拠を明らかにして説明できるようにするために

①児童生徒が考えを発表したり、まとめたりする場面で、必ず「根拠」を問うようにします。そうすることで、児童生徒が、説明に必要な情報、事実、根拠は何かを意識できるようになります。

★「なぜそう考えたの？」

★「どこからそのことが分かるの？」

②毎時間ノートに自分の考えを簡潔に書かせる活動を位置付け、習慣化を図ります。そのために、思考・表現の手がかりとなるものを示したり、準備しましょう。

- ・考える視点の提示
- ・ワークシートの工夫

授業5(ファイブ)②

③児童生徒の発言の内容について称賛するだけでなく、見方や考え方の優れている点を指摘し全体に広げるようにします。

④小中のつながりを意識して～学習の関連を意識する～

- ・定期的な振り返りの場面をつくる。
- ・他教科や既習事項との関連において定着を図る。

定着を図るために